



第 13 回 JAMSNET ワールド会議開催報告

2026年5月8日(金)・9日(土)の2日間にわたり、第13回 JAMSNET ワールド会議がオタワにて開催されました。なお、カナダでワールド会議が開催されるのは今回が初めてとなります。



5月8日(金)レセプション 会場:在カナダ日本国大使公邸

在カナダ日本国大使館の多大なるご協力のもと、5月8日にはオタワの大使公邸においてレセプションが開催されました。世界各地の JAMSNET 会員約 30 名に加え、オタワ在住の日本人、医療従事者、日系団体関係者が招かれ、和やかな雰囲気の中で執り行われました。大使公邸の庭先では、桜がちょうど見頃を迎えていました。



はじめに、在カナダ日本国大使館の石井秀明次席公使よりご挨拶を賜り、続いて、傳法清 JAMSNET カナダ理事会議長ならびに奥田アレックス OJCA (オタワ日系協会) 副会長よりスピーチをいただきました。



石井秀明次席公使

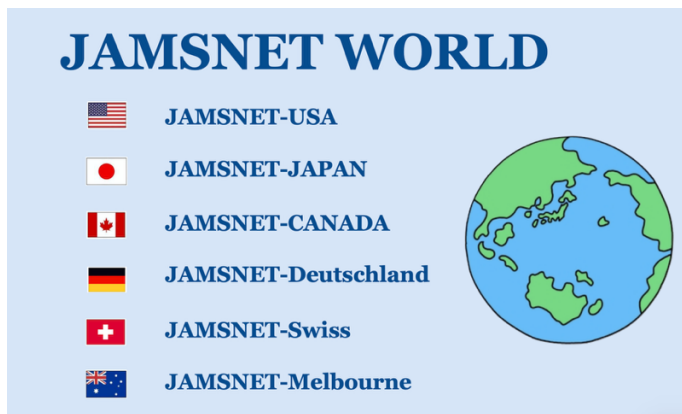


傳法清 JAMSNET カナダ理事会議長



奥田アレックス OJCA 副会長

続いて、澁沢明子 JAMSNET カナダ理事より、レセプションにご出席いただいた関係者の皆様へ向けて、JAMSNET の紹介が行われました。JAMSNET の活動を広く知っていただく貴重な機会となりました。



JAMSNET 紹介プレゼンテーション



澁沢明子 JAMSNET カナダ理事

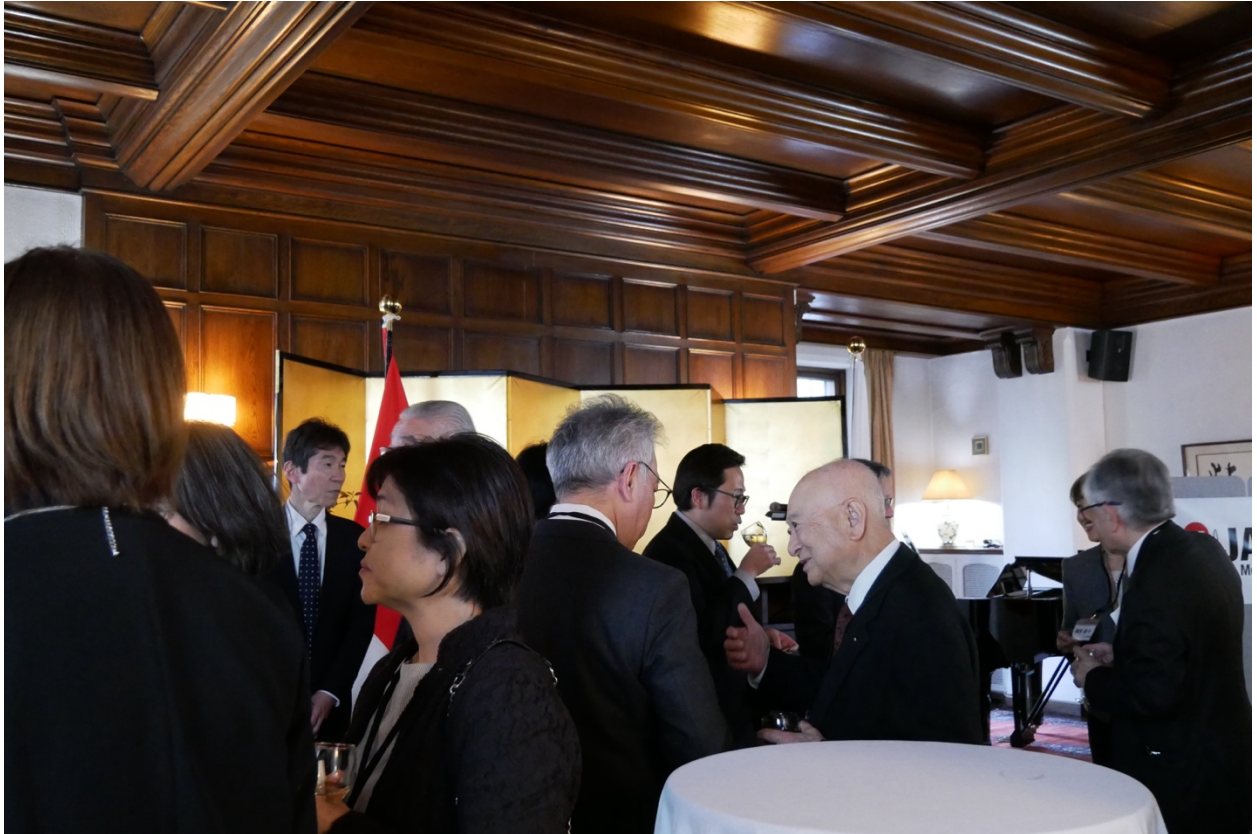
普段はなかなか顔を合わせる機会の少ないカナダ会員同士の歓談も弾みました。また、出席者の方々から JAMSNET についての質問が寄せられるなど、終始盛会のうちにレセプションは閉会いたしました。

ここに、レセプションの様子を添付いたします。



第13回 JAMSNET ワールド会議 準備委員（柴田のり子、沢明子、ステポナイティスゆかり、門野瑞穂）













5月9日 第13回 JAMSNET ワールド会議 会場:在カナダ日本国大使館

翌5月9日には、在カナダ日本国大使館において、JAMSNET ワールド会議「Beyond Borders — 心と体と希望のネットワーク」をテーマに開催されました。本会議はハイブリッド形式で実施され、会場参加・オンライン参加を合わせて約60名の皆様にご参加いただきました。



午前の部は、柴田のり子 JAMSNET ワールド会議委員長(カナダ会員)による歓迎のご挨拶および Land Acknowledgement に始まり、傳法清 JAMSNET カナダ理事会議長による開会のご挨拶、続いて在カナダ日本国大使館の石井秀明次席公使よりご挨拶を賜りました。



柴田のり子 JAMSNET ワールド会議委員長(カナダ会員)

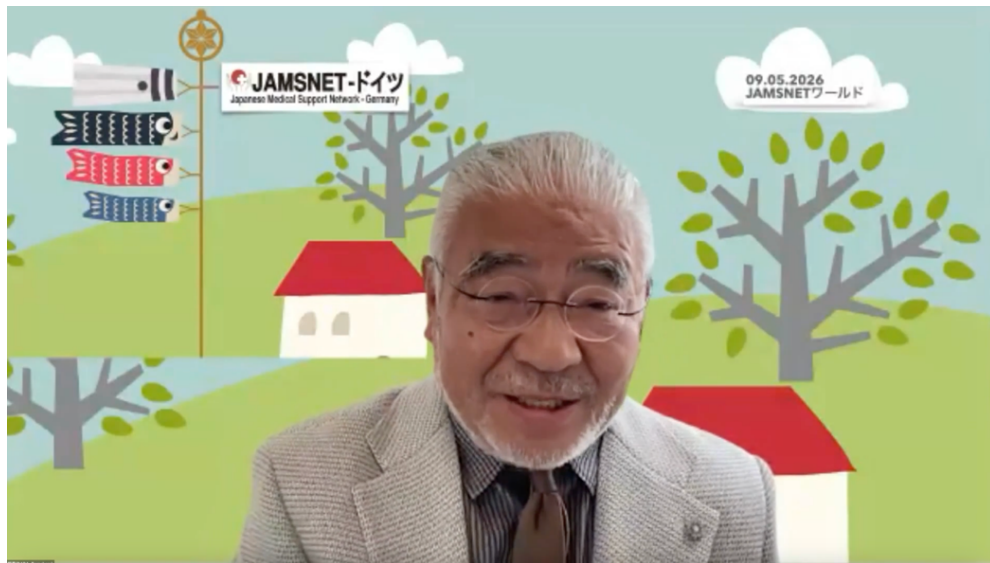


傳法清 JAMSNET カナダ理事会議長



石井秀明次席公使

続いて、JAMSNET ワールド会議が始まり、各地域より活動報告を発表いただきました。



馬場恒春氏 (JAMSNET ドイツ)



濱田篤郎氏 (JAMSNET 日本)



吉国泰代氏 (アジア圏シンガポール)



本間俊一氏 (JAMSNET USA)



傳法清氏 (JAMSNET カナダ)

その他、昨年発足したワールドメンタルヘルスネットワークについて、鈴木満代表よりご報告をいただきました。加えて、バーンズ静子氏より子ども支援ネットワークについて、また渡邊哲子氏よりDV 被害者支援ネットワークについて、それぞれご報告をいただきました。



鈴木満氏 (日本会員)



渡邊哲子氏 (USA 会員)



バーズ亀山静子 (USA 会員)

午後の部後半では、JAMSNET 発足 20 周年を記念し、創設者である本間俊一氏 (JAMSNET-USA 代表) と仲本光一氏 (JAMSNET-日本) による対談が実現しました。進行役は、ニューヨークおよびカナダにおいて JAMSNET の活動を支援してこられた山野内勘二在カナダ日本国大使にお務めいただきました。

対談では、JAMSNET 発足の経緯や 20 年の歩みが振り返られるとともに、今後の方向性を見据えた「オタワ宣言」が提唱されました。同宣言では、地域ごとの特色を尊重しつつ、JAMSNET として共有すべき 5 つの基本理念が示され、改めて組織の原点と使命が確認されました。「オタワ宣言」については、後日、各地域の代表者会議において内容を見直し、文言等の細かな修正を加えたうえで、最終版として取りまとめる予定です。



本間俊一氏 (左) と仲本光一氏 (右)



山野内勘二在カナダ日本国大使



JAMSNET20周年記念・創設者対談

「JAMSNETオタワ宣言」

前文

私たちJAMSNETは、医療・福祉・教育に関わる専門家ネットワークとして発足し、海外在住日本人の健康と安心を支えることを使命として歩んできた。発足20年という節目を迎えるにあたり、原点に立ち返り、その理念と使命を改めて確認し、次世代へ継承していくため、ここに「JAMSNETオタワ宣言」を掲げる。



「JAMSNETオタワ宣言 -5つの基本理念-」

- 1. 言語・文化に配慮した邦人支援**
海外在住邦人および日本人コミュニティに対し、言語的・文化的背景を踏まえ、可能な限り日本語による相談・支援を行う。
- 2. 多職種連携の推進**
医療・福祉・教育に関わる専門家が領域を超えて連携し、包括的で切れ目のない支援を実現する。
- 3. 正確で信頼できる情報の提供**
海外在住邦人に対し、科学的根拠に基づく正確な医療・健康情報を発信する。
- 4. 公益性と専門職倫理の尊重**
特定の政治・宗教的立場に偏らず、非営利性とボランティアリズムを基盤とし、専門職としての倫理を守る。
- 5. 地域性の尊重と理念の継承**
各拠点の自主性と地域性を尊重しつつ、JAMSNETの理念を共有し、次世代へ継承する。

午後の部は一般公開として開催され、在カナダ日本国大使館 一等書記官兼領事の中房丙后氏による「在外公館における領事業務について」、サイコロジストの鈴木直人氏による「ADHDの基本知識—子どもから大人まで」、そしてウニペグ大学夫婦・家族療法プログラムディレクターの谷口成美氏による「カップルセラピー」の講演が行われました。会議はハイブリッド形式で実施され、会場のオタワ在住者に加え、カナダ各地からオンラインでの参加もあり、多くの関心を集めました。



中房丙后氏(在カナダ日本国大使館)



谷口成美氏(カナダ会員)

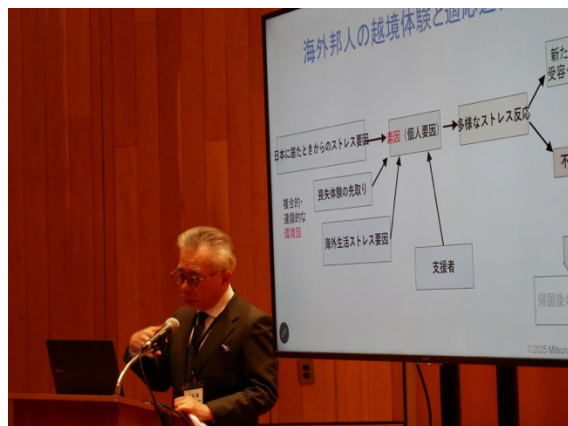


鈴木直人氏(カナダ会員)

午後の部後半では、シンポジウム「多様化する文化的・社会的背景に対して、医療従事者、介護者、または教育関係者は現在どのように向き合い、今後どのように取り組んでいくのか」が開催されました。各地域より発表が行われ、モデレーターの柴田のり子氏の進行のもと、活発なディスカッションが展開されました。参加者にとっても、多様性について改めて考える貴重な機会となりました。



ホーネカムプ山本 有氏(臨床心理士:ドイツ会員)



鈴木満氏(精神科医:日本会員)



加藤夕貴氏(表現アーツセラピスト:カナダ会員)



渡邊哲子氏 (ソーシャルワーカー:USA 会員)



モデレーターを務めた柴田のり子氏 (看護師:カナダ会員)



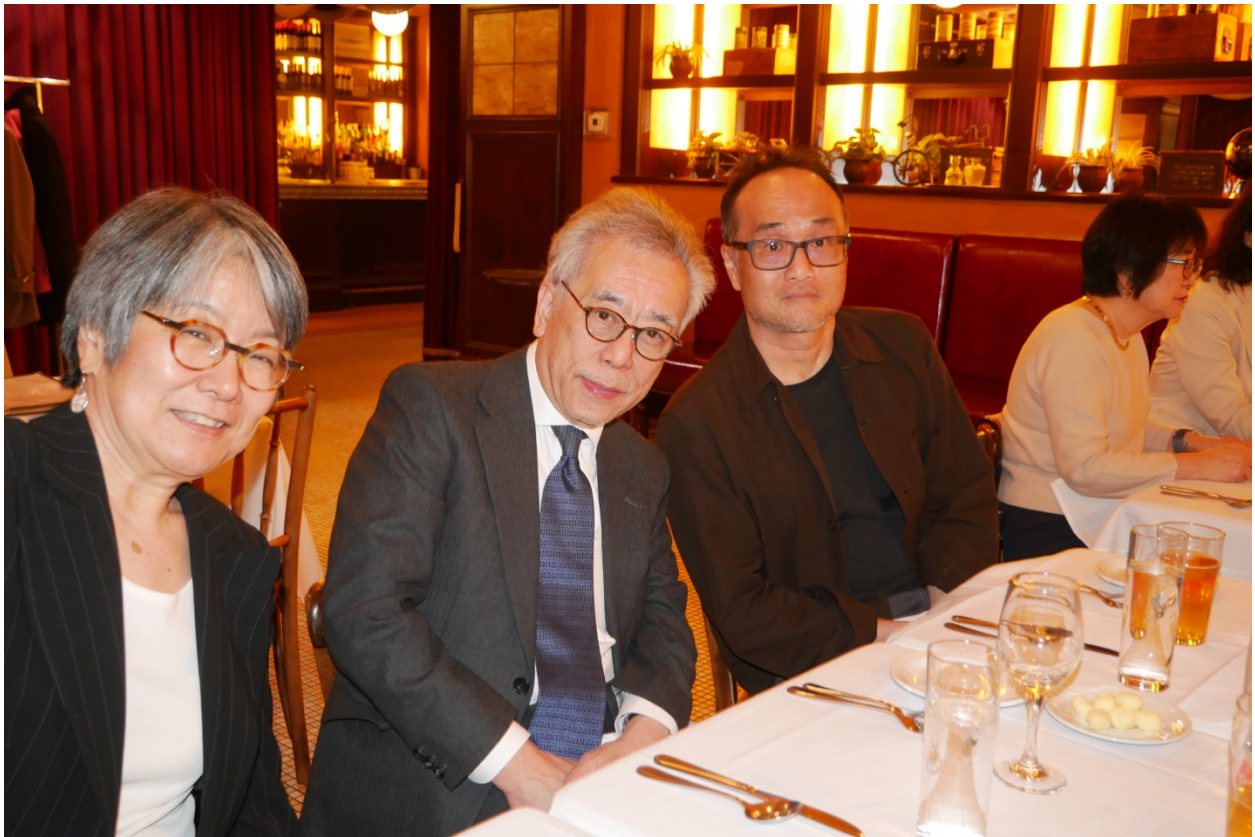


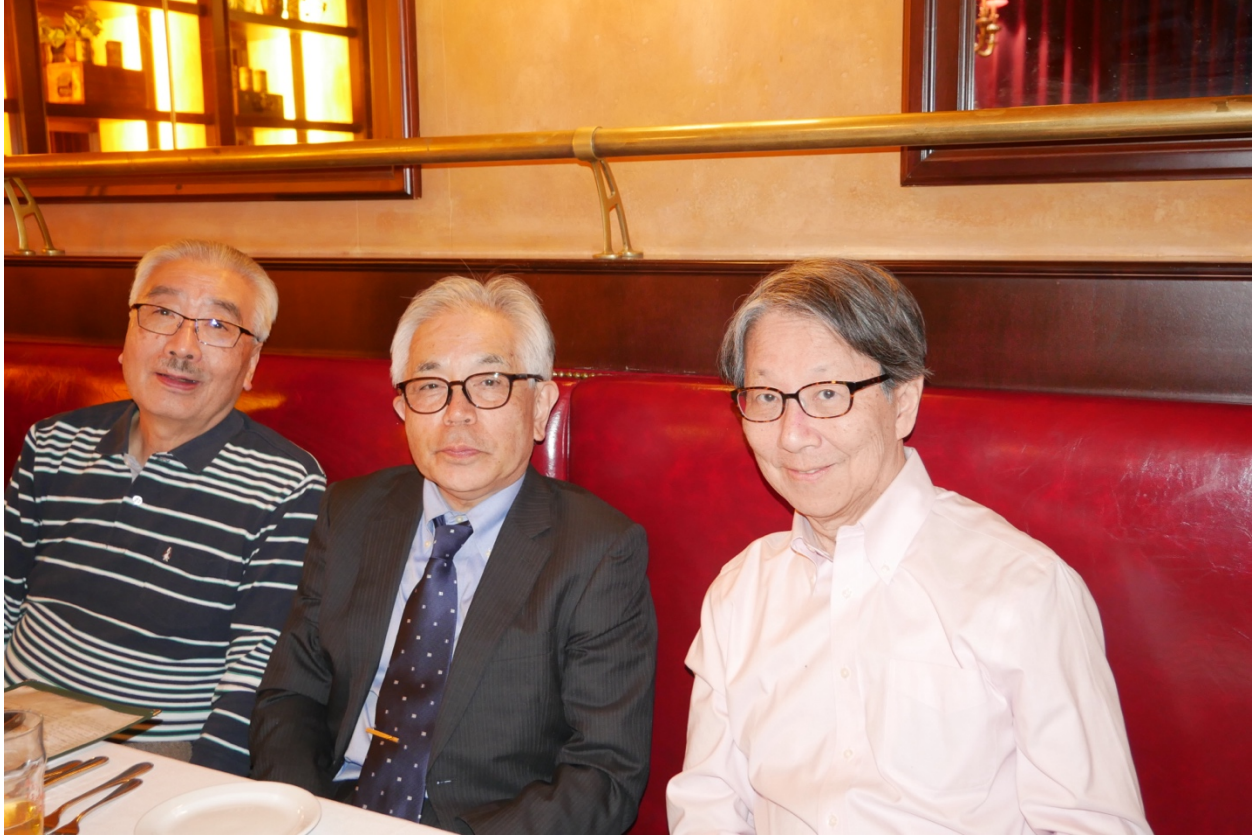
懇親会 会場:メトロポリタン

会議終了後は、市内のレストランにて懇親会が開催されました。懇親会の終盤には、本間俊一氏 (USA 会員) ならびに加納良雄氏 (USA 会員) より、労いのお言葉とともに、今後の活動へ向けた励ましのお言葉も頂戴いたしました。











本間俊一氏 (USA 会員)



加納良雄氏 (USA 会員)